



やどりきっ子

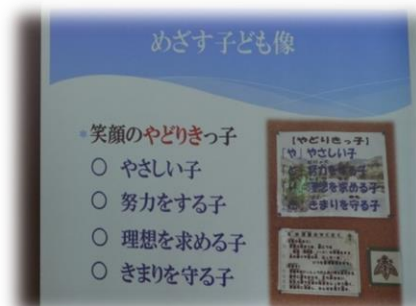
学び続ける学校 あたたかな学校 潤いのある学校

学校教育目標

- 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる子」
- やさしい子 ○努力をする子
 - 理想を求め子 ○きまりを守る子

みんなちがって、みんないい — 全校朝会より —

新緑の季節が過ぎ、新茶の摘み取りも一段落する時期になりました。学校では、ゴールデンウィークが明けた5月10日(火)、全校朝会を行いました。新年度に入り一カ月余が過ぎ、子どもたちに「入学・進級して、自分の目標はできましたか?」と問いかけました。校長から「学校には、国の学習指導要領に基づき、学校教育目標(裏面一部掲載)があり、みなさんの教育を進めています」と説明しました。さらに、金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」を紹介し、「みなさんの目標(めあて)は、一人ひとり個性・特性も違うので、誰一人同じ目標はないと思います。一人ひとりのペースで、達成に向けて努力しましょう」と話しました。



少人数授業の強みを生かす — 学習参観・PTA 総会・学級懇談会 —

4月27日(水)、学習参観・PTA 総会・学級懇談会を行いました。学習参観は、やや緊張した様子でしたが、落ち着いて自分の考え・意見を持ち、学級全体に伝えて、学びを深めていました。その後のPTA 総会・学級懇談会は保護者・家庭の方々に学校をご理解、ご支援いただけるために、年度始めの有意義な会になりました。



寄の産業・文化を引き継ぐ — 弥勒寺茶業組合 緑茶加工場にて —

3年生は、総合の時間で「寄のお茶について知ろう」をテーマに学習しています。4月からお茶畑の様子を見に行き、5月11日(水)にはお茶工場にも見学に行きました。そこでは、茶葉や荒茶の香りが製造過程で異なり、歴史を感じる機械や施設のもと、手際よく作業する職員の方々の姿がありました。

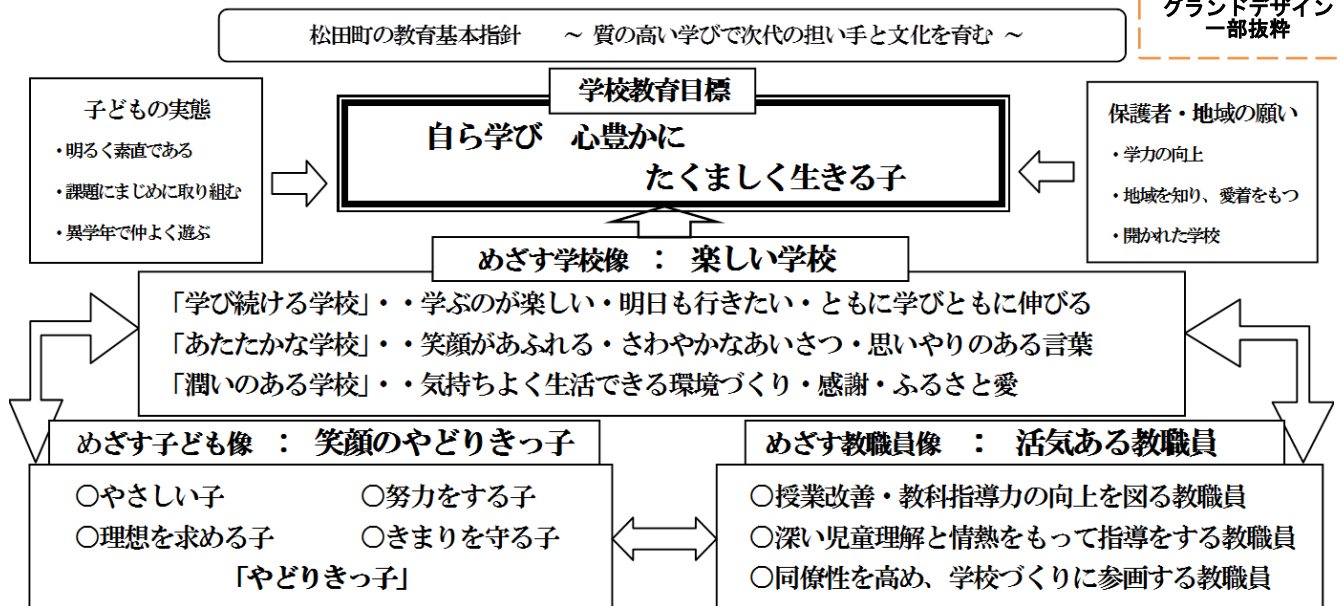
寄では品質が高く、一番茶しか出荷しないという地域の伝統と誇り、そして働くことの大変さを子どもたちは感じ取りました。



子どもと真ん中！ 子どもたちは、地域の宝。地域の未来！ —松田の教育—

松田町は、自然や歴史、文化など豊富な資源を活かし、いつでも、どこでも、だれもが安全かつ安心して学べる環境づくりと質の高い教育を推進しています。その理念を基に、寄小学校では「自ら学び 心豊かに たくましく生きる子」の育成、そして、めざす子ども像として「笑顔のやどりきっ子」の合言葉で子どもたちの教育に邁進しています。

グランドデザイン
一部抜粋



歴史と文化の世界遺産に学ぶ — 6年日光修学旅行 —



5月15日(日)、16日(月)の一泊二日で、6年生は日光修学旅行に行ってきました。世界的なコロナ禍の影響で、3年ぶりの泊を伴う修学旅行でした。寄小学校は学校規模の関係で、相和小学校とバスが一緒になり、2日間有意義に過ごしました。事前学習では両校の理解を深めるためにリモート交流をし、バスの車内では工夫を凝らしたレクリエーションを楽しみました。見学場所ではデジカメで自然や寺社を収め、子どもたちの楽しそうな笑顔と本物に出会う充実した学びができました。

子どもたちは、たくさんのお土産話と思い出を自宅に持ち帰ったと思います。保護者・家庭のみなさま、当日のお弁当を含め、持ち物等の準備、本当にありがとうございました。

自分の身は、自分で守る！ — 交通安全教室より —

5月24日(火)に松田警察署、寄駐在所、松田町交通指導隊、町職員のご協力で交通安全教室を実施しました。

講話は、全児童が背筋を伸ばして、しっかり返事をしながら聞くことができ「自分の身は、自分で守る！」意識の高さを感じました。次に高学年は自転車の乗り方を交通指導隊の丁寧な指導を受け、低学年は横断歩道の渡り方を実際の県道に出て真剣に行いました。登下校はもちろん、交通安全は学校・家庭・地域で見守っていきたく思います。



登下校はもちろん、交通安全は学校・家庭・地域で見守っていきたく思います。